



# 瀬田の丘

創刊 1973 年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

受難の主日(枝の主日) B 年(2024 年 3 月 24 日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 50 章 4－7 節

第二朗読：フィリピの信徒への手紙 2 章 6－11 節

福音朗読：マルコによる福音書 15 章 1－39 節

## 本当に、この人は神の子だった

三つの朗読から

第一朗読

主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え

疲れた人を励ますように

言葉呼び覚ましてくださる。

朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし

弟子として聞き従うようにしてくださる。(イザ 50 章 4 節)

「主が～してくださる」。わたしたちは主によって変えられていきます。変えてくださる主の働きに身を委ねなければならないでしょう。

打とうとする者には背中をまかせ

ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。

顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。(イザ 50 章 6 節)

しかし、主によって変えられることは、人々から嘲りの的となるのです。それでも、僕はかまわないと考<sup>むす</sup>えます。主と結ばれているからです。

## 第二朗読

かえって自分を無にして、(フィリ 2 章 7 節)

キリストと同じ心を持つ<sup>も</sup> (フィリ 2・5、フランシスコ会訳参照)。それこそが、最大で最高の<sup>おとう しかた</sup> 応答の仕方です。自分に固執<sup>こしつ</sup>せず、無となっていく道が、呼びかけへの応答となるのです。

## 福音朗読

「本当に、この人は神の子だった」(マコ 15 章 39 節)

四旬節第二主日の福音の言葉が響き<sup>ひび</sup>ます。「これはわたしの愛する子」。イエスさまは神から愛された子、神の子として生まれました。神の子イエスの生きるクライマックスは、自分を余<sup>あま</sup>すところなくささげる十字架でした。

わたしたちもまた、洗礼によって神の子として生まれ変わりました。しかし、まだ、完全ではないです。生涯<sup>しょうがい</sup>をかけて神の子とさせていただく道のりを歩むのです。

